

◎ 広報

たかのす

昭和

64・1・1

No. 639

発行日 毎月1日・15日

◆編集と発行 鷹巣町役場総務課広報秘書係

☎ 62・1111

◆印刷所 株式会社 成文社



迎春



謹賀新年

新年にあたり皆様のご健勝とより一層のご活躍をお祈り申し上げます。

昨年は、異常気象により稲作は著しい低温障害にあり、大きな減収を余儀なくされましたが、農業共済金の早期支払い、町税の減免、一連の低利融資、救農土木事業、種子更新の助成等の措置を講じ、損失を最小限にとめました。

また、町の主要事業としては、小猿部簡易水道事業の着工と一部給水、米代川緑地公園事業の着工と一部供用、深閑沢緑地環境保全林の整備等々、さらに、全国的規模の各種スポーツ大会の開催など、町行政は順調に進展をみました。

ここに、町民各位をはじめ、関係機関、団体等に対して深く感謝申し上げます。

今年は、ふるさと活性化事業として、大太鼓の館の完成、図書館及び資料館等の着工、国道一〇五号線鷹巣バイパスの工事促進、大野台国営農用地開発の調査完成、秋田内陸線の全線開通、広域ゴミ処理施設の完成、県北空港設置の具体化、日本海沿岸自動車道の路線の具体化等々をはじめ、町内農協合併の実現、企業誘致の促進等、産業、教育、福祉、環境浄化等多くの課題をかかえています。

ここに英智の結集をはかり、町勢の進展と町民所得の向上、福祉の充実に向けて邁進する所存であります。

つきましては、今後より一層のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

昭和六十四年元旦

鷹巣町長 出川 禮一

綴子農免農道

悲願の「向黒沢大橋」起工式

「まるで夢のようです！」



「くわ入れ」をする出川町長

昭和六十二年度から六十九年度まで、八年の歳月と十四億円の巨費を投じて整備する綴子農免農道（四千三百畝）のなかで、最大の工事となる向黒沢大橋の起工式が十二月七日に行われ、本格的な工事に入りました。地域住民が長年待ち続けた「夢の橋」のツチ音が現実のものとなり、大きな喜びにつつまれています。

向黒沢地区と国道一〇五号線を結ぶ、綴子農免農道事業の米代川に架設する「向黒沢大橋」の起工式が、十二月七日に糠沢地区内で行われ、関係者約五十人が出席して工事の安全と早期完成を祈願しました。

綴子農免農道は、向黒沢地区内を起点とする総延長四千三百畝（うち三百五十畝は町道太田・糠沢線と併用）に十四億一千万円を投じて整備するもので、一期工事（六十二年

度～六十六年度）、二期工事（六十五年～六十九年度）となっております。

一期工事は昨年度、起点から糠沢地区までの四百八十九畝が採択され、路線最大の難関向黒沢大橋が含まれていました。同橋は、鉞さい流送パイプ下流二百畝に架設されるもので、全長二百五十七・四畝、幅員八・七五畝となっております。六十三、六十四年度で下部工、六十五、六十六年度で上部工を完成させ、供用開始を目ざしており一期工事の事業費は、七億九千九百万円となっております。

向黒沢自治会長照内貞治さん（六五）は、「部落民にとって橋は悲願でありました。まるで夢のようです」と喜びを語ってくれました。

全線が完成しますと綴子、太田地区の七百九十三戸の水田、畑など千八十一畝に恩恵を受けることになり、地域の振興に大きく貢献するものと期待されます。

■3日(土) 中島智彦君（秋田商業高校三年）、小坂博君（合川高校三年）の選手激励会が開かれた。両選手は当町出身で、今年度の全国選抜、インターハイ、京都国体に出場し、見事三冠を成し遂げた。中島君は、レスリング、フリースタイル七七八も級で優勝、小坂君はフェンシングで団体優勝、両君の成果を讃え祝福した。二人とも大学へ進学し、更に選手生活を続けるとのこと。

日頃福祉活動に尽力された優良団体、個人の表彰等を行った。

■7日(水) 綴子農免農道向黒沢大橋起工式、「農免農道」は正式には「農林漁業用揮発油税身替農道整備事業」であり、道路財源としてガソリン等に可成りの税を加算して販売している。しかし、農林漁業用のガソリンは、道路財源に充当する性格でないが、免税で販売することは事務的にきわ

めて困難であり、一体的に課税しその税収を還元する事業で、受益者負担（町村等）は十二分の一である。



町長

日記

出川 一
12月1日～15日

とである。今後の活躍に期待を込めて激励のあいさつを述べた。

■4日(日) 鷹巣町公民館活動研究大会及び生涯学習発表交流会に出席。事例発表、講演等で終日充実した内容であった。

■9日(金) 議会全員協議会を開催。また、岩堰根林道工事完成祝賀会に出席。この林道は、栄字岩堰根林地に林構林道開設工事として二カ年で延長一・四㌔（幅員四畝）を三千七百万円余で完成し、該林地の一連の撫育管理が容易となった。

■5日(月) 社会福祉研修大会が開催された。「共に生きる地域社会をめざして」をテーマに、関係団体、役員をはじめ多数参加し、

この林道は、栄字岩堰根林地に林構林道開設工事として二カ年で延長一・四㌔（幅員四畝）を三千七百万円余で完成し、該林地の一連の撫育管理が容易となった。

親子座談会



出川町長

司会 新年明けましておめでとうございます。みなさんが生まれたのは十二年前の昭和五十二年でしたので、みんなは「年男」「年女」といってとても大事な年です。今日は町長を囲んでいろいろな話や意見を聞かせてください。
町長 今日みなさんに会えることを、大変心待ちにしておりました。

希望に満ちた新年の幕明けにふさわしく、今年の干支である巳年にちなんで、昭和五十二年生まれの児童（小学五年生）が出川町長を囲んで「新春子ビツ子座談会」を開催しました。
（あした）
将来の鷹巢をになう子供たちが夢や希望、あこがれなど、大いに語ってくれましたのでご覧ください。

「自慢ごと」するなら負けないうぞ！

「自分の学校のPR」

明子さん 鷹小では、三年前から「鷹っ子ばやし」をやっていますが、六年生が中心になって五年生に教える伝達式をやっていて、笛や太鼓、竹など拍子をとって打ち鳴らすので、学校中がとても楽しく感じます。



鷹小 三沢明子さん

良行君 多くの学校の近くには、中央公園があるのでナベッコ遠足やマラソン大会をやっています。学年ごとに小動物を飼っており、みんなで世話をしながら遊んでいるのでいいことだと思います。
文恵さん 私の学校では児童会が中心となり「子供祭り」をやっており、みんな楽しみにしています。自分たちで作ったお金で買物をしたり、クジを引いたりします。一番人

気があったのは「お化け屋敷」で、入れない子供もいるほどでした。綴子の歴史を研究する「ふるさとクラブ」というものもあります。
寿美さん 西小はスポーツが盛んでバレーは準優勝、バスケットは三位、スキーマイ内沢大会では三連覇。今年も優勝できるようにノルディック、アルペンとも練習を続けています。また、緑を大事にして毎年賞をもらっており、とてもきれいな学校です。

司会 町長が五・六年生の頃の学校の様子はどうでしたか。
町長 当時、分校も含め小学校は十五校ほどあり、生徒数もいまの倍でした。どんなに遠くてもみんな歩いたもので、自転車はせいぜい半分の家庭が持っているくらいでした。物を運ぶにも荷車やリヤカーで、みなさんの年齢になると家の手伝いなど、ずいぶん力仕事をしたものです。
司会 当時の子供はずいぶんがんばったものですね。
町長 そうですよ。田植時期

になると一週間の休みがあり、子供は大人と一緒に頑張って働いたものです。

司会 みんな聞きましたか。すごいでしょう。ところで本なんかはどうでしたか。

町長 人気あったのは少年クラブで、だれかが本を持ってくると争って読んだものです。中でも「冒険ダン吉」のらくろは人気の的でした。
司会 それでは次の方にお願います。

奈緒美さん 私の学校では、「はだし運動」や「ノージュース運動」を続けており、健康優良校に選ばれました。中央小と同じく、学校には、たくさん動物がいます。

良允君 多くの学校では吉野分校と交流を続けており、体の不自由な人に対し「思いやる心」を育てています。スポーツも盛んで、野球は町の大会で準優勝して郡大会に出場し、新人戦でも三位とがんばりました。相撲も強く、郡市新人戦で三位、上小阿仁大会では念願の優勝をしました。
和久君 多くの学校には学校田があり、田植から稲刈りまでやります。町の自転車コンテストでは五年連続して優勝し、県大会でも準優勝でした。太

新春天び

鼓クラブも、祭りや文化祭などでがんばっていますし、全校生徒三十六人と小さな学校

クラブや勉強に責任を持って！

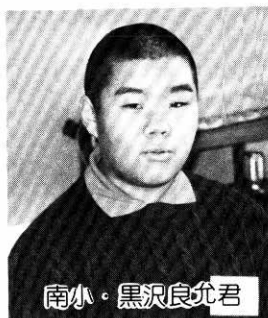
「こんな一年にしたい」

野球ではレギュラーになれるようにがんばります。

司会 みんな今年はいよいよ六年生だね。学校の機関車としてがんばらないといけないけれど、「こんなことをしてみたい」「これをがんばりたい」ということを話してください。

座談会出席者

司会	鷹巣町長	出川禮一
鷹巣小学校	三沢明子	
中央小学校	相沢良行	
綴子小学校	三浦文恵	
西小学校	藤島寿美	
東小学校	岩川奈緒美	
南小学校	黒沢和久	
亀森小学校	堀部久夫	
社会教育指導員	松橋範夫	



南小・黒沢良允君

和久君 児童会の仕事をがんばりたいし、クラブや勉強にも一生懸命やっていい成績を残したいと思います。

奈緒美さん 最高学年として下級生の面倒をキチンとやりたい。クラブでも先頭に立ち、チームをリードしたいと思っています。

司会 東小 schools は木造校舎ですが、改築計画があるか町長にお伺いしてみましよう。

町長 校舎ができてから三十年ほどになりますので、あと三年くらいで改築計画に入ると思います。

司会 木造校舎をどう思いますか。

奈緒美さん スキ間から風が入って寒い時もありますが、なんか暖かさがあって、鉄筋よりはいいと思います。

寿美さん 今年自分の年でもあるし、最上級生でもあるので低学年の子供たちと協力して、すばらしい学校にしたい。また、ほかの学校と、もっと交流したいと思います。

司会 寿美さんは、夢中でやりたいことはありますか。

寿美さん 私はバスケットをがんばりたい。

文恵さん 私は最上級生として、下級生の手本になるようにがんばりたいと思います。

司会 文恵さんは森岳から転校してきましたね。綴子はどんな感じがしましたか。

文恵さん 「けど」「パツパツ」など言葉が変わっていると思いました。

良行君 今度は登校班や清掃の班長もあり忙しいので、低学年を引っぱり、立派な六年生になりたい。また、健康な体をつくって野球大会で優勝

したいです。



中央小・相沢良行君

司会 町長は五年生頃、夢中でやったスポーツなどありましたか。

町長 五十年以上も前のこと。その当時の子供はよく遊んだものです。おこづかいなんかももらえないものだから、山でセンフリなんか取ってきた。それでこづかいを作った。時期にもよりますが、アケビ、クリなどよく取ったものです。司会 どうみんな、今こうして遊ぶことあるかな？

全員 なんとなくあわただしくて、毎日忙しい感じがする。司会 町長はスポーツ選手ですが、いつ頃から始めたのですか。

町長 当時の子供は、四年生あたりから大会に歩いたものです。陸上と相撲が主でした。司会 今は各種大会が多いね。明子さんはどうかな。

明子さん 私は部活の中心となるので下級生を面倒見なが

らががんばりたいです。今までは六年生を頼りにしてきましたが、これからは責任をもつてやりとげたいと思っています。クラブはバスケットなのですが、がんばりたいと思います。司会 さアここで町長に伺いたいと思いますが、今年なにか子供たちがびつくりするよなプレゼントありませんか。町長 いま進めている中に三つほどあります。ひとつは「大太鼓の館」ですが、多くの人が「大太鼓を見たい」という要望があり、今年立派なものを作って、中には大太鼓や大名行列の道具や衣裳などを陳列する。また、祭の様子などふだんは見ることができな

親の後姿をよく見えています

「こんな大人になりたい」

司会 今度は、みんなどんな大人になりたいか聞かせてください。

文恵さん 私はだれにもやさしく信頼され、善悪の判断がつく人になりたい。小さい頃は花屋になりたかったけど、今は農業か商店をやってみたいと思っております。

いので、スクリーンを使い、音と映像で観賞いただくもので、郷土に受けつがれた芸能を伝承しながら保存しようとするものです。また、交流センターの隣りに「みちのく風土記館」というものを造り、その中に独立した「図書館」を建てる。それから分館の民俗資料室に昔の道具などを陳列していますが、生活分野のものもとりそろえた「資料館」も計画しています。それに、深閑地内にある「慶祝公園」を老人と子供に重点をおいて整備しており、昨年は遊具や散策道路など作りましたし、みんなで楽しめる森にしたいと思っています。



文恵さん 三浦小 綴子

司会 文恵さんの農業はどんなのですか。

文恵さん 酪農とか野菜づくりです。お母さんの姿を見て忙しそうで、大変だと思えます。和久君 学校に野球部はないけど、好きなのでうんと練習してプロ野球の選手になりたいです。



和久君 堀部 小森

明子さん 私は大人になったら学校の先生になりたいと思っています。寿美さん 私はシェフになりたい。うちのお父さんはナベ料理がとても上手で、「私もあなりたい」と思いました。そんなことから外国料理の勉強をしたいと思います。

司会 どの国の料理が一番やってみたいと思いますか。

寿美さん フランス料理です。司会 奈緒美さんはどうかな。

奈緒美さん 私は理容師になりたいので、高校を卒業したら専門学校で勉強して、鷹巣一の理容師になりたい。

司会 町長は小さい頃なに

なりたいたと思いますか。町長 小学六年生と言えば昭和十二年です。当時は支那事変など戦争のさ中で、男の子はみんな軍人にあこがれたものでした。

司会 良行君はどうかな。

良行君 ぼくは小さい時、病気がかりしていたので大人になつたら医者になりたい。

良允君 ぼくの家は小森で森昌寺という寺です。お父さんの跡を継ぎたいと思っています。

司会 お父さんの仕事を見てどう思いますか。

良允君 なんだか忙しそうだけど、もうからないように見えます。

司会 あとないかなア。

緑と花にあふれ活気のある町

「こんな鷹巣になってほしい」

司会 それでは次に、どんな「鷹巣町」になってくれればいいと思いますか。

和久君 公園や広場などいっぱいあればいいと思います。

司会 中央公園もあるけど、どんな公園かな。

和久君 森林など大自然を生かしたものです。

明子さん 私は学校の先生になれなかつたら、お菓子屋さんになりたい。それに卓球をやっていますが、指導者が少ないので指導員になって小さい子たちに教えたい。

奈緒美さん 私の母さんは看護婦なので、看護婦さんにあこがれた時もあったけど、お母さんの話を聞くと大変そうだったので、無理かなアと思理容師にしました。



奈緒美さん 岩川 小

良允君 鷹巣町は田畑が広がって緑が多く農業が盛んな町ですが、工業面ではがんばりが足りないと思います。友だちのなんんかのお父さんは出稼ぎに行っているの、出稼ぎに行かなくてもいいように、緑を生かした大きな工場を立ててほしいと思います。



司会 田んぼも緑も残して、さらに工場ということですが町長どうですか。

町長 非常にむずかしい問題です。町の一農家当り一・三畝の耕地面積ですが、大潟村で十五畝、米国では二百畝もあるんです。それほど日本農業の規模は小さいので農業と合わせて工業となっているん

です。しかし今の工場は機械化が進み、人をあまり使わなくなっているんです。だから農業がヒマな時だけ「頼む」という工場はないのです。若い技術を持った人がたくさんいないと工場がなり立たない構造になっています。みなさんも事務だけでなく、機械も操作したり三交替で夜に仕事

があっても出かける：そんな気持ちがないと工場は来てくれないのですよ。

司会 今の工場はコンピュータ化が進み専門的になってきているので、半分農業、半分工場というのは大変になってきたようですね。

寿美さん 町には大きな行事が少ないと思いますので、よその所とちがうことをしたら観光客がいっぱい来ると思えます。また、駅前とか商店、病院まで花や木で飾るときいな町になり、花と緑の鷹巣になってほしい。



西小・藤島寿美さん

文恵さん 緑が豊かで公害のない、きれいな町であってほしい。

明子さん 花の名前を知っている人が少ないので、名札など付けたいと思う。鷹巣にも親子で遊べる場所がほしい。

町長 みんなが楽しめる場所として、慶祝公園には桜やツ

ツジ、アジサイなど花を見たり、小鳥が好きな実のなる木を植えて、いろいろな樹木の中で観察したり、体も鍛えられるような場にしたいと考えています。河川公園もまだまだ大きくなりますし、中央公園には将来リスとかウサギなどの小動物園も考えています。

奈緒美さん お年寄りが安心して住める町にしてもらいたいし、自然がいっぱいあるのでそれを生かして、なにかを作った方がいい。最後に若い人が働ける工場を造ってほしいと思います。

町長 町には縫製工場がたくさんあって、働いている人も一、三〇〇人以上いますが、だんだん年齢が高くなってきています。若い人は親と一緒に働くようで、「いや」なんです。私は縫製でも電機部品でも立派な仕事なので、若い人にもドンドンやってもらいたい。好ききらいをしていては、会社が来ません。

それから緑は、ただ山に木を植えれば良いというものではありません。間引きや、肥料をやったりして、手入れをしないといけないのです。

良行君 内陸線ができるので鷹巣に人が来るようにしても

らいたい。グラウンドに近くの工場から煙が広がって目が痛くなるので、そんな公害のない町にしてほしいと思います。

町長 内陸線は四月に全線開通して、角館まで一時間四十九分で行けるようになります。鷹巣では各種のスポーツイベントや、ふるさと踊りなどをやっています。学校同志での交流も大事ですので、大いに交流してください。また公害については、生活污水が一番問題になるので、昭和六十五年頃から公共下水道を計画したいと思っています。



司会・松橋範夫さん

司会 みなさん今日は、意見などよく出してくれました。「もう少し」と思った人もいたと思います。今年はある年の「年」でもあり、最上級生になるので下級生をグングン引っぱり、すばらしい一年になるように勉強、クラブ活動などに精いっぱいがんばってください。

◀ 昨年のリーグ優勝、準優勝チームの激突となった日本電気対日立戦は、第一セットから手に汗にぎるラリーの連続



第二十二回全日本バレーボールリーグ鷹巣大会

▼ 日本を代表するエースアタッカー大林選手。大きな瞳とさわやかな笑顔は人気の的



▲ 試合はNHKで全国に放映された。西田アナウンサーは「鷹巣はとてもきれいな町ですね」と印象を語ってくれました。解説は、角館出身で元オリンピック選手荒木田裕子さん

日	立				
15	3	15	11	16	
11	13	15	7	15	14
	2				
	日本電気				
	(試合時間2時間5分)				
	日本電装				
	3	16	10	9	
15	15	16	15	15	
13	7	14	15		
	2				
	カネボウ				
	(試合時間2時間17分)				

第二十二回日本バレーボールリーグ鷹巣大会が、十二月十七日に鷹巣体育館で開催され、「日本電気―日立」「日本電装―カネボウ」の好カードに、県内外から集まった二千人のバレーファンは、日本トップレベルのプレーに陶醉しました。

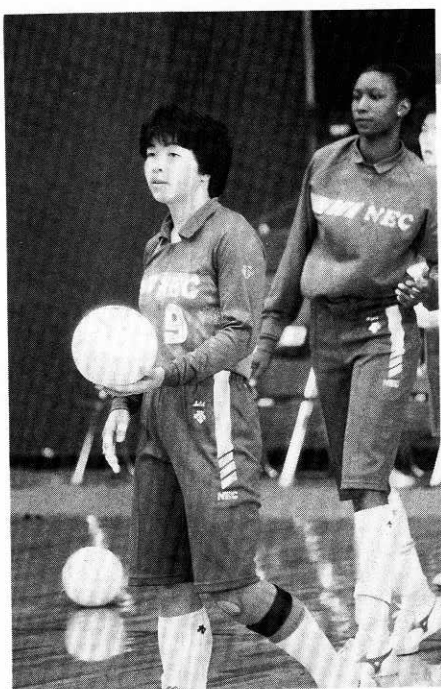
「鷹巣で日本リーグを」と数年前から町体育協会、バレー協会など関係者が一丸となって招致した結果ついに実現したもので、各チームとも早々に鷹巣入りし、この大会にける意気込みが感じられました。

第一試合は、ベスト6に五人も選ばれた昨年の覇者・日本電気と、高さスピードで今期王座奪回をねらう日立との対戦となり、コートは割れんばかりの声援が飛びかい、各セットごとに一進一退の攻防の好試合となりフルセットの末、高さにまさる日立がリーグ最多の四勝目をあげました。

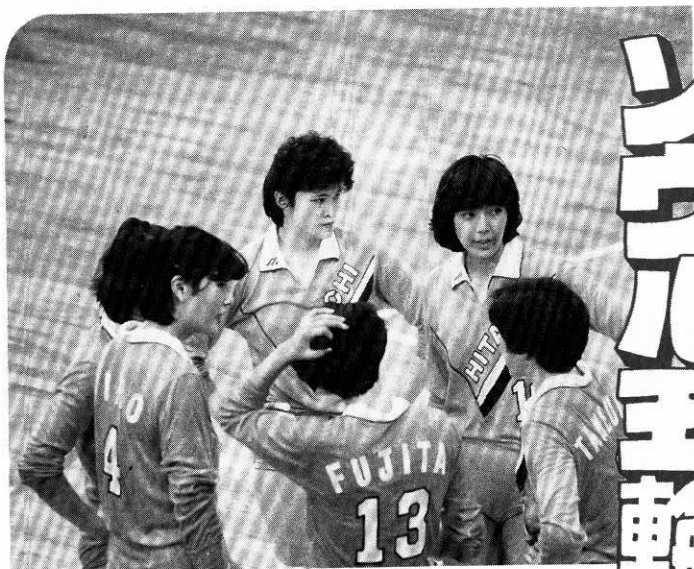
第二試合は、昨年六位の日本電装と七位のカネボウが対戦し、二セットを連取したカネボウが勝つかに見えましたが、三セット以降反撃に転じた日本電装が逆転勝ち。勝った瞬間、肩を抱き合い涙を流す選手もいて激戦を物語っていました。

観客は、強烈なスパイク、すばらしいレシーブもさることながら、「実際に見る選手は、どの人もスタイルがよく美人だ」との評も聞かれ、目が肥えている鷹巣っ子もこの日だけは、ド肝をぬかれたようでした。

▼ バレー界のスーパースターたち



▲日本電気の大黒柱佐藤、パワーNo.1のメジャーズ両選手



ソウル五輪の顔が鷹巢に!!

▶ 第一、第二試合ともフルセットにもつれこむ大熱戦に二千人の観客は、バレーのだいご味をたん能した
(日本電装―カネボウ戦)



農業技術テレホンサービス

農業改良普及所では、農業技術情報のテレホンサービスを行っております。

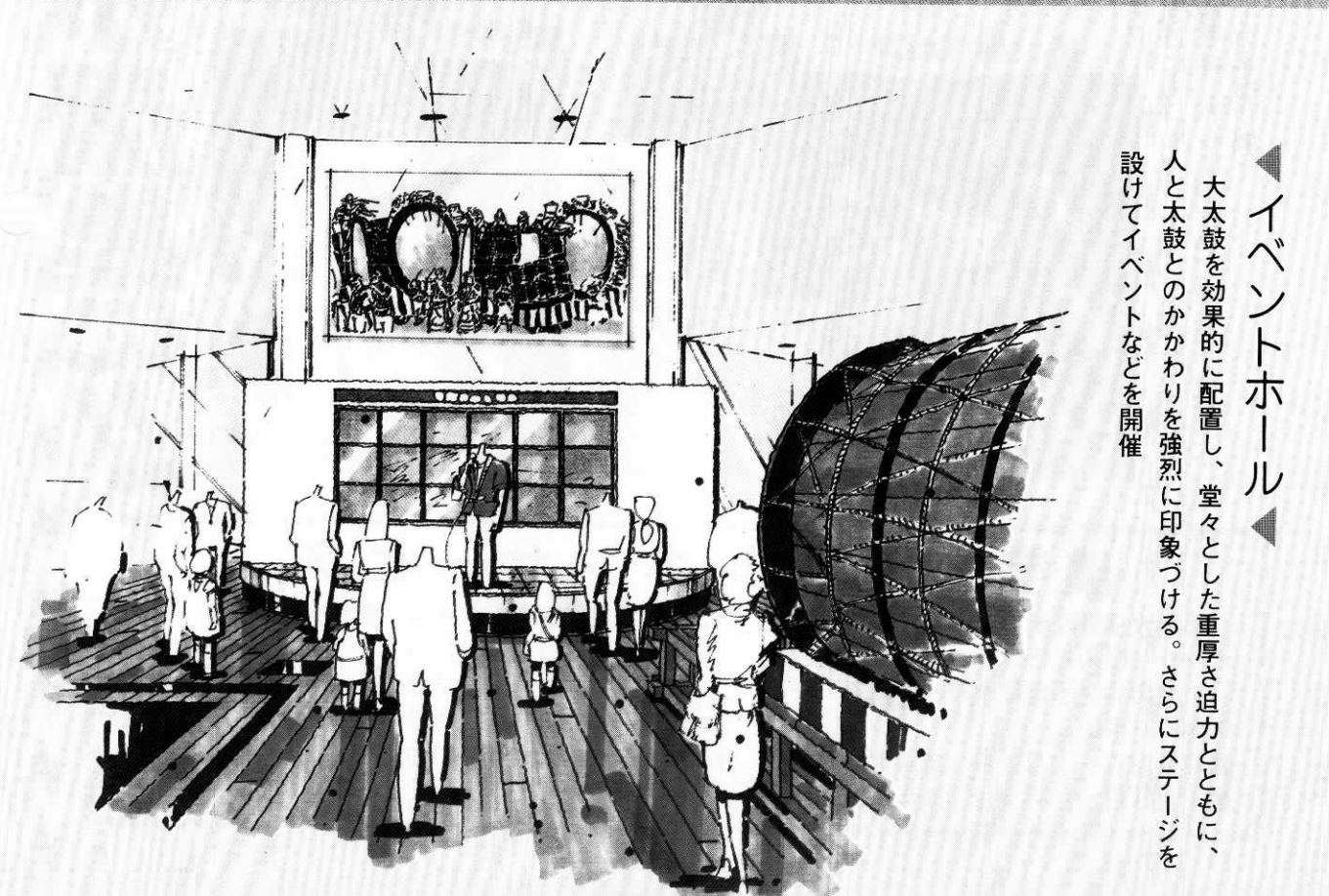
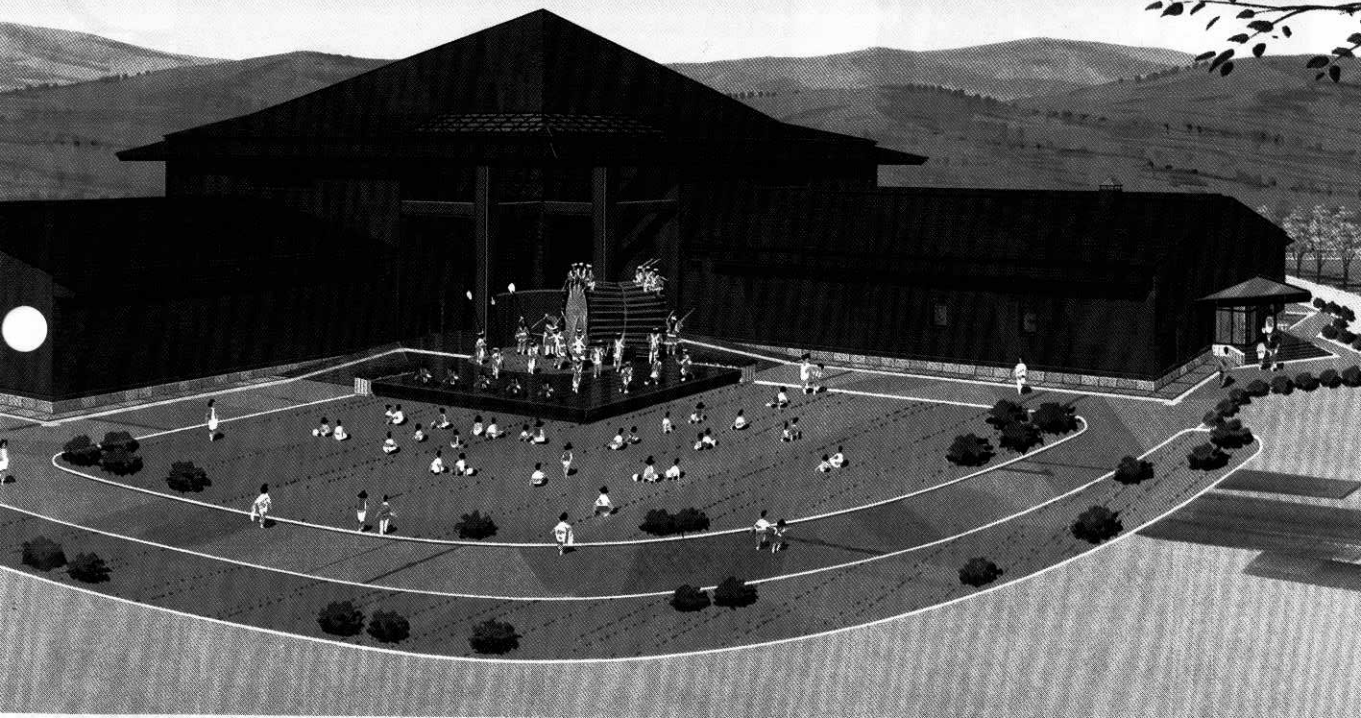
1月の放送予定は次のとおりですので、ご利用ください。

- 12月28日～1月4日 年末年始の暮らし方
- 1月5日～1月9日 新年にあたり

- 1月10日～1月20日 県北農業の動き
- 1月21日～1月27日 確定申告と簿記記帳の役割
- 1月28日～2月3日 冬場の健康管理について



大太鼓の館



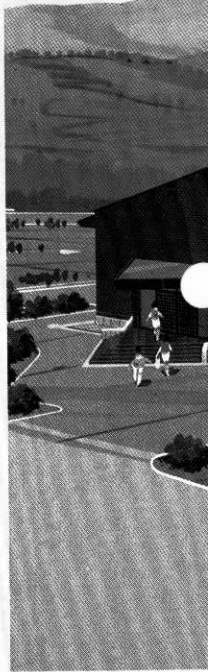
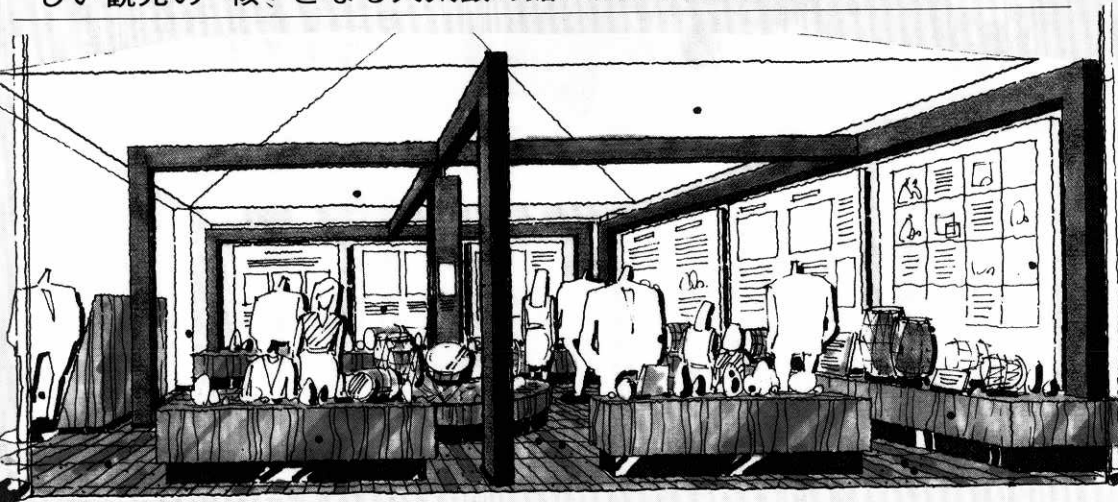
◀ イベントホール ▶

大太鼓を効果的に配置し、堂々とした重厚さ迫力とともに、人と太鼓とのかかわりを強烈に印象づける。さらにステージを設けてイベントなどを開催

夢あふれる

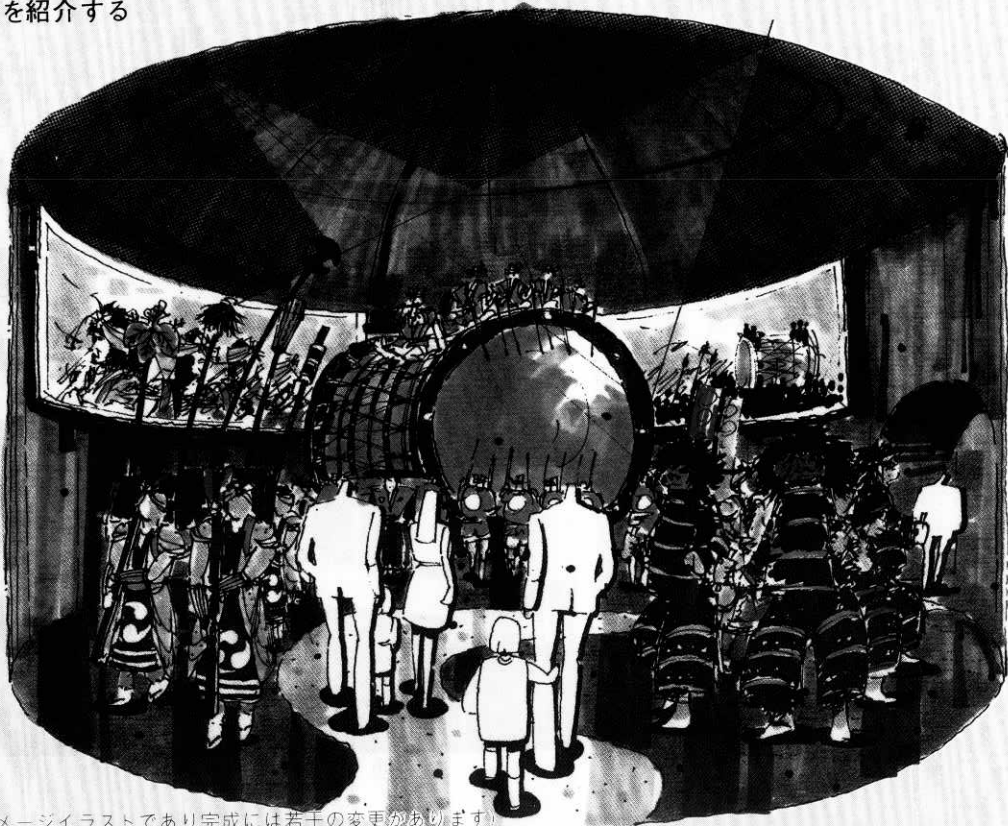
北国の厳しい自然の中で長い歴史と伝統を誇り「農民魂」をいまに伝える、国指定の無形民俗文化財・綴子大太鼓をメインとした「大太鼓の館」が、今年11月のオープンを目ざし総事業費7億円を投入してよいよ着工されます。

町に伝わる豊かな民俗芸能文化の保存と伝承をはかりながら、新しい観光の「核」となる大太鼓の館に熱い期待がよせられています。



▲ 太鼓ミュージアムホール ▲

日本及び世界各国の太鼓を陳列し、民族芸能のなかで太鼓が果たす役割や由来などを紹介する



◀ 体感ゾーンホール ▶

日本一の大太鼓を光と音で再現しながら、祭りの躍動感を肌で味わえるように設定

12月定例会 行政報告

六十三年十二月定例町議会は、十二月十四日から二十三日まで十日間の会期で開かれました。議会は、初日に町長の行政報告と提出議案の大綱質疑が行われたあと、各常任委員会に付託されました。十五日、十六日の両日に一般質問、十九日から各常任委員会が開かれ付託議案等を審議、最終日に本会議を開いて閉会しました。

十二月定例会の行政報告は次のとおりです。なお、決定した議案等は一月十五日付広報で報告します。

東京鷹巣会の設立総会に

三百人が集う

〔企画調整課関係〕：誘致企業「秋田サンリッツ」は、予定どおり十月一日に操業を開始。従業員は本社出向社員を含めて、三十三人となり、当初計画人員を大幅に上回りました。更に、来春の新卒採用内定者は十三人となっており、会社の増築計画と併せて地元雇用促進に役立つものと期待しております。また、第二、第三の企業誘致をめざして鋭意努力しております。

東京鷹巣会の設立総会は、十月三十日、東京上野タカラホテルで、町関係者を含む約三百人の首都圏在住者が参加して開催しました。今後は、自主体制を確立しながら相互扶助、情報収集の場になるよう期待しております。

秋田内陸線の乗客概況（六十二年十一月から六十二年十月まで）は、前期に比べ十万人五千五百九十一人減となり、前年比に比べ十万人五千五百九十一人減となりました。

また、中袋地内に工事中の「西鷹巣駅」が完成し、全線開業の明年四月一日から供用の予定です。県北空港建設促進期成同盟会（県北三市三郡、



西鷹巣駅

十八市町村加盟）は、県への陳情、先進地視察などを実施し、六十六年の国の計画案に組み入れるよう関係機関へ要請しております。

六十三年度地籍調査事業は、横溝、中屋敷、脇神、堂ヶ岱、川口、小ヶ田の六集落、六八八の現地調査を終了し、仮閲覧に入っております。

〔町民課関係〕：第五回社会福祉研修大会は十二月五日「共に生きる地域社会をめざして」をテーマに、関係団体の協力を得ながら、参加者二五〇人が集い、体験発表と記念講演をとおして、参加者一人ひとりが地域社会福祉について研修しました。

交通安全運動については、関係機関等と密接な連携をはかりながら事故防止に努めております。特に、本年は全県において死亡事故が多発、当町においても、六月に死亡事故が発生しており、今後は、年末、年始に向け町民総ぐるみで事故撲滅

に努めてまいります。

消防施設については、貯水槽四基、消火栓二基、器具置場二カ所、小型ポンプ二台の配備に加え、七日市に車庫及び望楼を設置しました。

〔保健課関係〕：六十三年健康増進法は、鷹巣地区を対象に開設し「自らの健康は自ら守る」という意識の徹底をはかり、健康で豊かな町づくりをめざして、延べ四百人の受講がありました。

法の適用による、犬の登録と狂犬病予防注射は、十一月末現在で、登録五一〇頭、予防注射四八四頭であり、今後とも犬の放し飼い、危害防止等について指導を行います。

冷害による被害額は

七億八千万円余り

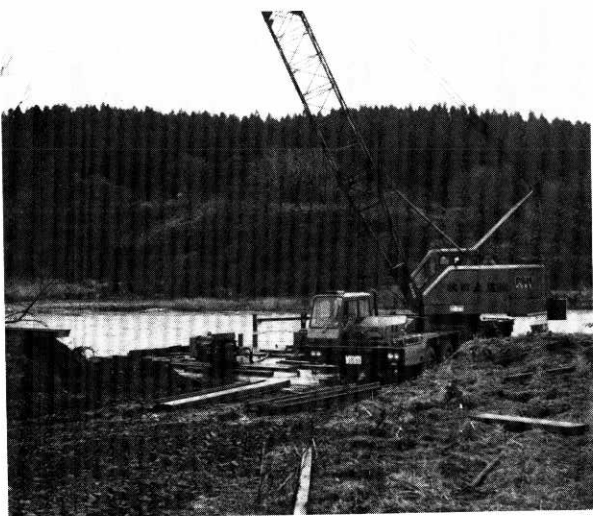
〔農林課関係〕：今年の稲作は冷害により、平年収穫量一三、八〇〇トに対し、減収率二〇・三割と見込まれ、その被害額は、およそ七億八千二百万円となります。また、十一月三十日現在の出荷数量は、九、二七八ト（限度数量一〇、八〇三ト）一等米比率も昨年の九一割を大きく下回る七二・四割に落ち込み、農家経済に深刻な影響を及ぼしております。町は、十月十二日、冷害対策本部を設置し、大館、鹿角を含む北鹿地域対策本部のもとで、関係機関への陳情と協議を重ねてまいりました。その結果、天災融資法の適用と激甚災害の指定が決定となりました。

天災融資法及び激甚災害指定による融資については、現在二億二千四百五十万円の融資希望があり、これに伴う冷害対策事業として、融資希望者への利子補給、六十四年度水稲種子購入費の一部補助、民有林間伐事業の導入、救農土木事業等

の措置を講ずる所存であります。

農協合併促進協議会は八月四日の発足以来、委員会、協議会、座談会、合併先進農協の視察等、精力的に実施しており、現在、各農協において財務の内容を検討中であります。

綴子農免は、十二月七日、待望の向黒沢大橋の起工式が行われ、米代川の橋脚工事に着手、早期完成を期待しております。



向黒沢大橋工事現場

排水対策特別事業の鷹巣西地区、美田古地区、坊沢地区は稲刈り後に着手されており、鷹巣西地区は今年度で完了します。

農村総合整備モデル事業は、本年度採択され、農業排水路七〇〇メートルについて舟場地区を施工中であります。

新林構事業は、継続中の林道岩堰根線及び又右工門田ノ沢線が完了し、供用開始しました。また、坊沢深関沢に造成中の緑地休養施設（林

間広場の緑化、丸太遊具施設三基も完成しております。なお、県営事業の生活環境保全林事業も当年度分は完成しております。

大太鼓の里建設事業は

自治省採択を得る

〔商工課関係〕：中小企業振興資金制度（マル鷹融資）の利用状況は、十月末現在で二五件、九千二十万円、利用残高は一五四件、三億七千二百二十万九千円となり、預託額に対して三・七倍の利用額になっております。

第八回産業祭は「地域おこしはみんなの力で」をメインテーマに、十一月二日から四日まで開催され、期間中一万四千人の人数で賑わいました。大太鼓の里建設事業とタイアップしながらすすめている商品開発促進事業は、現在一般公募中であり、二月中旬に応募特産品の展示と審査を行う予定であります。

自治省に申請中でありました、大太鼓の里建設事業が、十二月五日付で採択の通知がありました。当町に大型小売店の出店計画があり、仙台通産局は当町を「小規模の町」と認定。この決定に対する町の回答にあたっては商業の実態、経営者、商業団体、消費者の意見を集約した結果「一般的に自粛する必要があると判断する」と回答しました。県のリゾート計画及び大太鼓の里建設事業をひかえ、町観光協会、商工会と提携し、国内外の観光事業に精通している観光会議所のメンバー五名を迎え、十月九日「鷹巣町観光会議」を開催し、大都市よりの観光誘客と観光開発について懇談しました。今後これら人脈をとおした誘客に努めます。



改良工事が完了した葛黒・吉ヶ沢線

企業誘致により、内職の求人、求職が増加傾向にあり、十一月末の調査結果、鷹巣阿仁部の内職就労者は八百人となっております。

竜ヶ森登山道及び同キャンプ場は、町民登山と自然を育む心を育成のため整備をすすめておりましたが、十月十四日付で秋田営林局より「竜ヶ森森林レクリエーション地区」として、国有林第五次地域施業計画に追加指定されました。

除雪は万全の体制

直営舗装は三、二八四メートル

〔建設課関係〕：本年四月より十一月末までに発注した各種工事は九八件、五億七千六百九十六万円、予算対比八一・二割の発注率です。

災害復旧工事は、現年災一五件のうち九件を発注

注、早期完成をめざしております。

直営舗装については、米代川堤防線ほか一〇路線、延長三、二八四メートルを完了しました。

継続事業の葛黒・吉ヶ沢線の改良工事は予定どおり完了しました。

除雪については、幹線道路、生活道路、その他道路を含めて、一九八キを直営一二台、委託三〇台、計四二台の除雪車配置計画をたて、万全を期しております。

補助事業の七日市・松沢線は、工期内の完了をめざしております。

〔水道課関係〕：上半期の水道事業経営状況は、給水件数、給水量とも順調に推移しており、収益の増加を期待できる状況にあります。

小猿部地区簡易水道事業の施工状況は、十二月末日をもって、当年度分の工事を完了する見込みであり、給水関係についても加入促進はもとより、予定の一部集落の給水に努力しております。

公民館大会で

生涯学習の実践発表

〔教育委員会関係〕：文部省の指定研究校として鷹巣南中学校は九月三十日「心身障害児理解推進」の公開研究会を、鷹巣中学校は十月十四日、全科の公開研究会を開催しました。

鷹巣中学校統合三十周年記念式典は、十一月十九日行われ、新たな発展への決意と展望が確かめられました。

東北中学校駅伝競走大会は、十月二十二日町内周回の特設コースで、各県の予選を勝ち抜いた二一チームが参加し開催されました。また、十一月二十五日から二十七日まで鷹巣体育館を主会場に

東北高校選抜バスケットボール大会が開かれ、熱戦がくり広げられました。

十二月四日開催の、第六回鷹巣町公民館活動研究大会、生涯学習発表交流会は「豊かな生活を築く、生涯学習を考える」をメインテーマに、各階各層から二三〇人が参加し、講演、パネルディスカッション、実践発表などをおし相互に学習を深めることができました。

〔広域市町村圏組合関係〕：広域ごみ処理施設建設工事については、杭打、ごみピット等の工事は、予定どおり進捗しており明年三月末日までに、六十三年度分は完了する見込みであります。



広域ゴミ処理施設完成予想図

花と大太鼓の響き合う里づくり

綴子地区公民館



綴子小ふるさとクラブ

花のある街「綴子」

町民憲章の四章に、「緑を育て環境をよくし美しい町をつくりまします」とあります。

地区あげて花いっぱいに取り組んだ綴子地区にとつて昭和六十三年度は栄光の年でした。町の花いっぱい運動花だんコンクールでの受賞数からもう伺うことが出来ます。

▽町長賞 岩谷自治会

▽教育長賞 田中自治会

▽花いっぱい協議会長賞 二本杉婦人会・田子ヶ沢婦人会

▽努力賞 糠沢ひまわり婦人会・新田中町内会

▽奨励賞 糠沢子ども会・糠

沢若妻学級

沢若妻学級・中の岱町内会
小田婦人会・大堤若妻学級
以上、上位独占の他全入賞の三割強でありました。

ビクタイトルとして秋田県花だんコンクール団体の部で入賞した綴子河川敷花だんがあげられます。(町特別賞)

花を育てた子ども会、婦人会、老人クラブ、町内会の努力もさることながら、綴子農協の強力な支援体制にも感謝したいところであります。高橋綴子公民館長は「やがて大太鼓の館も出来るとの話、訪れる人のためにも、新年度はもっと力をいれたい」と語っ

ておられました。

たくましく鍛える綴子

六月にNHK健康フェスティバルでジャンボなわとび大会で綴子小チーム優勝、綱引き大会でも優勝と幸先きのよいスタートをきりました。

その後町民体育祭での地区優勝、町内駅伝青年の部壮年の部いづれも一位、鷹巣阿仁部綱引大会女子優勝(藤島木材)、バレーボールとともに綴子の底力をみる事が出来た年でもありました。今、冬期スポーツ教室の開催に向けて高橋、金沢、七尾、佐藤さんの体育指導員が意欲的な取り組みをしています。

地域の結集を図る綴子

かつて地域活動の中心であった綴子青年会の復興をめざし着々準備を進めている青年主事の三沢さん。

地区の親睦と連帯をはかり新春交流会と、綴子地区の未来を語る各団体長会の新企画で地区の総合的な結集をめざす。(小笠原成人主事) 綴子地区公民館の展望は明るく開かれるものと思えます。

学社連携の強力な支援組織後援会が贈った和太鼓が、日本一の太太鼓と和して響くように。

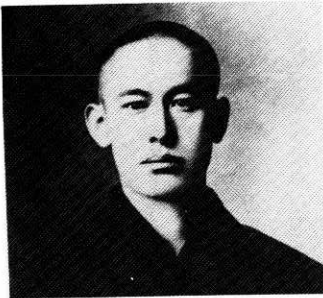
ふるさと人物伝

はたけ やま ただ ひさ
畠山 忠 久

一八七九—一九二四

畠農協中央会機関誌「農協あきた」に「協同組合の先覚者・畠山忠久」が紹介されている。

忠久は明治十二年、沢口村脇神の神職、畠山家に生まれる。畠山家は二十畝ほどの水田を所有し、生活は恵まれていた。沢口小、秋田中(現秋田高)から早稲田大学へと進んだ彼は柔道の神様と言われた加納治五郎の書生として住み込む。また大隈重信を慕い、政治



家になることを志望していたが、父が若くして世を去り祖父も年を重ねてきたので卒業してまもなく帰郷して神職を継ぐ。

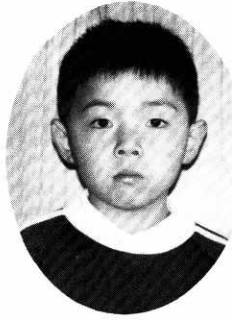
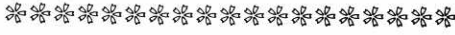
その頃の農村は生産はあがらず、生活は苦しかった。彼は、明治四十二年八月、村の同志と語らい、信用事業を主体とした「有限責任脇神信用組合」を設立した。全県で三番目、県北では最も早い創立であった。

組合員七十八人、出資は一十口で口数は二百七十口、総金額二千七百円であった。初代組合長には忠久が就任、専務理事花田徳一、理事畠山東一郎、監事に佐藤喜蔵がなる。規模は小さいが活動がめざましく出資貯金を増やし肥料の共同購入、米の集荷などで第一回全県表彰を受ける。

忠久は県社七座神社、大館市神明社の宮司、秋田県神職会々長など本職でも活躍していたが大正十三年没自由主義者で磊落な人であった。(昭六一・一〇「農協あきた」長男忠光氏談より)

文責 長崎 久

の広場



七日市保育園
ながき やすのりちゃん(五歳)



子供の頃、暗くなるまで雪遊びして帰ると、母が作ってくれた「きゃの汁」がクツクツ音を立てて私達を待って居てくれたものでした。
「きゃの汁」とは、大豆を使ったものです。大豆は水洗いし、ぶつぶつ程度に白でつ

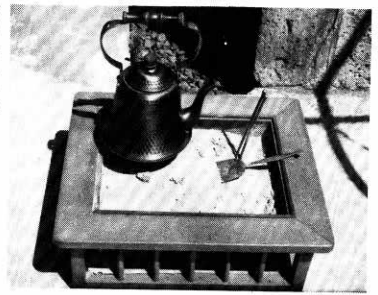


中屋敷 千葉 ヤエさん(46歳)

きゃの汁 今月のテーマ 「我が家の暖か料理」

ぶし、水を少し加え小判型に丸め、フライパンで両面を焼いて置きます。これを「じんだ」と言っていました。
出し汁はにぼし、こんぶで取り、味噌味にし、揚げ豆腐、大根、人参の線切り、わらび豆腐、かまぼこ、えのき茸などを入れ、それに「じんだ」を入れるのです。
「きゃの汁」をフーフーしながら食べると、体もぼかぼか暖まり、家族みんなから喜ばれております。
母の作ってくれた味には、まだ程遠いけど、私の作った

対談 わたしたちの意見



いろり(火ばち)

灰の入った炭火の暖かさ
火鉢の中にあつ赤におこった炭火が、冬の寒さを暖かくしてくれる。火ばちで炭火をよく重ねたり灰ならしできれいにすじをつけて、正月には、羽織、袴の正装で、かんづけのお酒を飲んだ風情がなつかしい。

(松葉町・佐藤 富雄さん)



高校卒業直後から田舎を離れ、今では東京での生活の方が長くなってしまいましたが、それでも成長期の十八年間の田舎生活は忘れがたく、息子達を気の毒に思っています。年一度しか帰省できませんが、年を重ねるにつれ、友人達に逢うのがたのしみになりました。
昨年から東京ふる里会に出席して、なんととも言えぬ田舎のにおいを感じては、幸せをかみしめています。
綴子二本杉出身の私は、

田舎の想い出をかみしめて

東京都足立区・宇 田 隆 子さん(45歳)

吹雪にはつべを赤くして、小学校の六年間を岩谷分校へ通いました。六人だけの卒業生が綴子中学校へ入学する時は、大都會の学校へ行くような気持ちになったことを想い出します。雨の日も風の日も、二本杉から大堤まで通うのに徒歩から自転車へと変わったものの、冬は通いきれず下宿までしました。今は当時の小学校はかろうじて形だけ残っています。冬でもバスや車で苦勞なく通学できる今の子供達には想像もできない当時の貴重な体験と根性は私の宝です。
その想い出をかみしめながら、今は看護の道で、人々とのふれあいを大切に働いております。
▽二本杉出身、佐藤春義さんの長女です。



みんな



七日市保育園
いわもとともみちゃん(五歳)



「きやの汁」を囲む時、おばあちゃんの昔話しも出て来そうな、暖かなだらんらんになります。

だし汁の利用



綴子下町
藤島千恵子さん(37歳)

「おかあさん、きょう何のみそ汁」「味は何の味」「ちよつとあじみさせて」と、我が家の一日の料理教室が始まります。

味に敏感な生徒が三人いるだけに手抜きした料理は、出来なくなりました。自慢する

広報ののり

書き初め

年賀状は筆ペンやワープロ

口ですました人も、書き初めはやつぱり毛筆でという人が多いようです。書き初めを書くのは主に学童ですが、最近では趣味としての書道が盛んになり、書き初めをする人が増えています。

書き初めは、吉書、試筆、

ほどの料理ではありませんが煮干、コンブ、カツオを材料とした、だし汁を多目に作りピンに詰めておくと、二三日は保管出来ます。これを料理の下味として使用してからは、化学調味料とお付き合いすることがなくなりました。発育盛りの子供達に必要な栄養源。健康は、朝のみそ汁一杯からと、みそ汁の具も何種類もの野菜を入れ、だし汁と野菜の甘味で、きびしい冬に向つての我が家の暖か料理が出来上がりです。

子供達も大きくなっていく日か、食卓に煮干、コンブ、カツオが、出て来てくれたらと思つています。

筆始めなどともいつて、正月の二日に、新しい筆や墨を使つて、めでたい字句を書くのが一般的です。

書き初めは、鎌倉時代から年中儀礼のひとつとして行われていたようですが、寺小屋教育の普及とともに盛んになり、江戸の文人たちの間でも行われていました。

みなさんも、自分の人生観やモットーを書き初めてみませんか。

昭和34年5月の脇神である。沢口支所、農協があり、地区の人たちはここで用が足りた。当時は一面に苗代と田んぼが広がっていたが現在は、国道沿いに民家やスーパーマーケット、林業センターなどが建ち、いまま沢口の中心部となっている。



たかのすの昔

おしらせ

献血にご協力 してください

献血車が次の日程で巡回します。多くの方が協力くださるようお願いします。

- 9日▽加藤自動車工場（午後二時三十分～三時二十分）
- ▽平塚自動車商会（午後三時四十分～四時三十分）

母子健康手帳 交付と妊婦教室

妊婦を対象とした、母子健康手帳、妊婦教室などの日程は次のとおりです。

- 母子健康手帳交付と第一回妊婦教室（必ず本人がおいでください）
- ▽日程＝一月九日、二十三日
- ▽受付時間＝午後零時三十分から一時（終了時間三時）

▽妊婦教室内容＝妊娠中の栄養、母乳栄養、母子健康手帳の使い方、映写、むし歯予防

- ▽持参品＝印鑑、歯ブラシ
- 第二回妊婦教室
- ▽日程＝一月十二日
- ▽時間

＝午前十時から午後三時まで
▽妊婦教室内容＝講話、実技（妊婦体操）、映写など
▽持参品＝母子健康手帳、トレパン、テキスト、昼食
※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

老人の精神衛生 相談室を開設

鷹巣保健所では、老人性痴呆ほう疾患など、老人の精神衛生に関する相談室を開設しました。

医師、保健婦が直接相談に応じますのでご利用ください。
▽精神衛生相談＝一月十一日、二十五日（午後一時～二時三十分）

▽一般健康相談＝一月十二日、二十六日（午前九時～十一時）
▽場所＝鷹巣保健所

国の進学ローン のご利用を

国民金融公庫では、来年四月に進学される方の保護者を対象に「国の進学ローン」の申し込みを受け付けております。ご利用ください。

主な内容は次のとおりです。ご利用できる方＝高校、大学

大学院、専修学校などに進学する方の父母、または進学する方（勤労学生に限る）
▽融資金額＝進学者一人あたり百万円以内
▽返済期間・利率＝五年以内 年五・七％
▽申し込み＝来年四月三十日まで、国民金融公庫大館支店（☎〇一八六―四二―三四〇七）へ

手づくり土産品を募集

鷹巣町ものづくり推進委員会では、町の物産や伝統を取り入れた、手軽に買える土産品を募集しておりますが、一月三十日が応募締切です。ふるってご応募ください。応募用紙は、役場商工課・商工会にあります。

第二、第四土曜日法務局は閉庁になります

行政機関の土曜閉庁方式導入に伴い、法務局も一月から第二土曜日、第四土曜日が閉庁になります。

登記及び供託の受付、戸籍、人権相談の事務等も、取り扱いできませんのでご了承願います。

問い合わせは秋田地方法務局鷹巣出張所（☎六二―二二―一五）へおたずねください。

「広報たかのす」郵送サービスします

町では「広報たかのす」を町外居住者の方にも購読して

磯釣り海難の防止

磯釣り中の釣り人が高波にさらわれたり、痛ましい事故が発生しております。危険箇所への立ち入り禁止など十分注意しましょう。

夜間当番医（夜間診療）の日程表 （午後6時30分～9時）

1月	曜日	医療機関名
1	日	北秋中央病院
2	月	戸嶋産婦人科医院
3	火	近藤医医院
4	水	佐藤外科消化器科医院
5	木	藤原医医院
6	金	奈良医医院
7	土	佐々木産婦人科医院
8	日	盛岡外科医院
9	月	鷹巣病院
10	火	戸嶋医医院
11	水	戸嶋産婦人科医院
12	木	近藤医医院
13	金	北秋中央病院
14	土	奈良医医院
15	日	佐藤外科消化器科医院

急患以外は受けません。

いただくため、郵送サービスを行っております。
郵送希望者は、一年分（毎月二回発行をまとめて月一回送付）郵送料七百二十円を添え、送付先の住所、氏名をお知らせください。（役場・広報秘書係☎六二―一一―内線二二）



一線美術会運営委員 九島寮二氏

一月の健康相談

一月の健康相談は、次のとおりです。

成人健康相談は十一日と二十五日です。時間は午前十時から午後三時までです。

血圧測定のほか尿検査、体重測定など、午後は慢性病予防教室で、十一日心筋梗塞について、二十五日動脈硬化予防について行います。

リハビリ教室は十八日です。在宅脳卒中後遺症の方を対象に行います。時間は午前十時から午後三時までです。

※場所はいずれも中央公民館保健相談室です。

四力月児健康診査は三十一

日です。

対象は六十三年九月生まれのお子さんです。小児ガンの早期発見の検査もしますので、必ず受診してください。受付時間は午後一時から一時三十分までです。

離乳食指導と七力月児健康相談は三十一日です。

対象は六十三年六月生まれのお子さんです。受付時間は午前九時三十分から十時まで母子健康手帳とバスタオルを忘れずにお持ちください。

三歳児健康診査は十九日です。

対象は六十年十一月、十二月生まれのお子さんです。受付時間は午後零時三十分から一時まで、母子健康手帳、問

診票をお持ちください。※場所はいずれも鷹巣保健所です。

生き生き健康教室の講演会

町では冬期成人病予防教室「生き生き健康教室」を五回コースで開催しております。

第三回、第四回講演会は次の日程ですので多数ご参加ください。

▽第三回講演会 一月十八日「腰痛にお悩みの方へ耳よりの話」(野崎修一先生)

▽第四回講演会 一月二十六日「肥満、糖尿病、肝障害の人のくらし方」(上原修先生)

※場所はいずれも中央公民館ホールです。

善意

▽財団法人日本民謡協会秋田県北支部(支部長・戸沢義若からチャリティーショーの収益金の一部として十万円)

▽坊沢お茶の会(代表・長崎星子)から三千四百円

町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

ご芳志に感謝いたします。

▽下舟木 藤原与志美さんから亡父与吉郎さんの香典返し

▽新田中 九島邦彦さんから亡父清造さんの香典返し

▽材木町 畠山喜久雄さんから亡父安太郎さんの香典返し

▽旭町 佐藤秀雄さんから亡母チメさんの香典返し

▽小ケ田 近藤努さんから亡父利左エ門さんの香典返し

▽綴子大畑 小笠原清逸さんから亡父清治さんの香典返し

▽羽立 佐藤九二秋さんから亡母トメさんの香典返し

▽大館市川口 佐藤清忠さんから亡父清治さんの香典返し

慶弔だより

12月1日～12月15日

誕生おめでとうございます

三沢 舞美(誠) 長女 大堤

一月は町税最後の納期です

町民税第四期・保険税第六期

- 山田 絵里加(幸市) 二女 明利又
 - 畠山 一樹(晃博) 長男 与助岱
 - 成田 斗萌(和義) 二女 街道町
 - 近藤 広大(直志) 長男 中屋敷
 - 小松 愛弥(一夫) 長女 東横町
 - 渡辺 大輔(俊一) 長男 今泉
 - 鈴木 理香(林作) 長女 幸町
 - 出川 謙佑(信久) 長男 糠沢
 - 九嶋 嘉寿也(義徳) 二男 田中
 - 佐藤 稚草(司朗) 長女 掛泥
 - 野呂 章人(俊二) 長男 幸町
- 二人の前途を祝福いたします
- 大川 敏美 前野
 - 下坂 裕子 前野

おくやみ申しあげます

- 高橋 豊吉(76歳) 舟場
- 小笠原ソノ(68歳) 前山
- 小笠原清治(90歳) 綴子大畑
- 能登谷多一郎(76歳) 相善
- 近藤利左エ門(61歳) 小ケ田
- 津谷 トメ(88歳) 坊沢上町
- 九嶋 悦郎(83歳) 田中
- 山田 勝美(43歳) 堂ヶ岱
- 秋元 良造(61歳) 深閑
- 工藤 イヨ(81歳) 小田
- 武石 雄太(7歳) 幸町
- 木村 サヨ(80歳) 元町

